



真生会富山病院の理念

仏法精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

人口9万4千の県内第3の射水市として新年を迎えることになりました。景気にやや回復の兆しが見えてきたとの報道もあり、良い年になって欲しいと願っています。ただ、医療の現場を見ていると、不況の影響でしょうか、入院を早くして早く仕事に復帰したいと希望される方が増えているように見受けられます。また、検査・治療にともなう苦痛を避けたいという要望も強まっているように思います。

当院では、これまでも、苦痛の少ない胃カメラで患者さんの負担を少なくすることや、小さな傷で済む内視鏡手術などを取り入れることで早期退院に取り組んできました。これからは、負担の少ない検査や治療が、さらに必要とされると思います。ただし、どんなに負担の少ない検査・治療であると言っても、安全でなければ、安心して治療を受けて頂くことは出来ません。最近では、国をあげて医療事故の報告を集め、状況を分析し、再発防止に結びつける動きが出てきました。報告を見てみますと、重大な事故の殆どは、基本的な操作ミス、確認ミスが原因であるようです。いくら医療技術が進歩したと言っても、最終

安全で質の良い医療に
誠心誠意、全力で
取り組んでまいります。



的に機械を操作するのは人間ですし、患者さんに医療を提供するのは、スタッフの手を介してになります。人は完璧ではなく、間違いを起こす動物であると言われます。しかし医療の現場では、間違いは許されるものではありません。自分や自分の家族が治療を受ける立場となったなら、どのようにして貰いたいかと考えて行動することが、医療に携わる者の姿勢として大切ではないかと思えます。

構造改革にともなって医療費の抑制が叫ばれ、この医療機関も厳しい状況と思いますが、安全で質の良い医療を受けたいというのが、患者様の変らぬ思いであり、また、医療を提供する私達の目指すところでもあります。これからは皆様の健康を応援できる病院であり続けられるよう、スタッフ一同、誠心誠意の医療に全力で取り組んでいきたいと思えます。

真生会富山病院

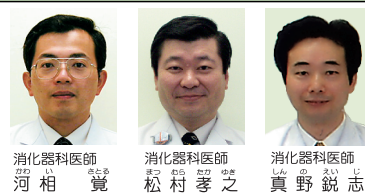
院長 駒井 孝一
副院長 河相 寛



新春座談会 '06 「医療安全について」

副院長 耳鼻咽喉科医師 真鍋 恭弘	副院長 眼科医師 橋本 義弘	看護部副部長 木田 真由美	中央検査課課長 成瀬 智
薬剤課 後藤 敦史	情報室 土田 史高	医事課 寺井 恵美子	看護師 柴田 博隆

「安心と満足の医療をめざし皆様の健康を応援します！」



●消化器科

真生会(真)善(サ)ホ(ホ)ー(ト)チ(チ)ー(ム)

NSTって何だ?

ご案内

診療案内

診療科

内科・消化器科・外科・小児科
整形外科・耳鼻咽喉科・皮膚科
眼科・心療内科・精神科・神経科
麻酔科・リハビリテーション科
放射線科・泌尿器科・歯科

診療日・診療時間

平日 午前9時～午前11時30分
午後5時～午後7時30分

(内科のみ) 午前9時～午後7時30分

土曜日 午前9時～正午12時

休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

24時間救急診療

全科往診在宅診療

保険証は、毎月提示をお願いしています。必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では、原則として「院外処方」としてあります。当院が発行した「処方せん」に基づき、最寄りの調剤薬局でお薬をお受けとりください。



薬剤課スタッフ

薬剤課は薬剤師6名で主に三つの仕事をしています。一つ目は薬の調剤です。薬剤師という、はかりで粉薬を量っているイメージが強いかもしれませんが、調剤とはそれだけではなく、調剤はまず処方箋の内容をチェックから始まり、処方内容に疑問があれば問い合わせ

薬剤課

患者様が安心してお薬を服用できる薬物治療をめざします。



日常業務の様子

確認します。次に薬を入れる袋、薬袋を準備し、処方箋のとおり薬を取り揃えます。最後に別の薬剤師が、処方内容、薬剤の種類や数、薬袋の記載などを再度確認します。このように二重三重のチェックをして薬の間違いが起きないように努めています。また、厚生労働省の医薬分業推進の方針に従い、真生会でも院外処方箋を発行しており、外来調剤は近隣の保険薬局に、病院内の薬剤師は入院病棟へと役割が分かれつつあります。私たちも入院処方の調剤、注射薬の患者様ごとの取り揃え、内服薬のセットなどを行なっています。二つ目は薬に関する情報の対応です。薬の飲み方や使い方、副作用などについて、患者様や病院スタッフの問い合わせに応じています。三つ目は薬の在庫管理です。必要な量を提供できるように、薬を院内に準備しています。冷蔵庫に保管しなければならぬ薬や光を避けて保管する薬、有効期限の短い薬など法律のつとめて適切な管理に努めています。薬剤師は、薬に関して患者様が不利益を受けることがないように、薬剤師倫理規定に基づいて仕事をしています。薬に関するご相談は遠慮なく薬剤課までお問い合わせください。

慢性疲労症候群 (疲労外来)

内科外来では、慢性疲労症候群の方に代替療法を予約制で行っています。事前にご相談の上お越しください。

〈慢性疲労症候群の診察〉

- 診断基準に従って診断名をつける
- 通常の診察において薬物療法を行う
- 必要に応じて入院治療も行う

診療をご希望の方は、診療方針をご理解の上、内科(TEL 0766-52-6969)にてご予約ください。

慢性疲労症候群(CFS)とは、これまで健康に生活していた人に原因不明の強い全身倦怠感、微熱、脱力感、思考力障害、抑うつなどの精神神経症状などが起こり、この状態が長期にわたって続くため、健全な社会生活が送れない症状です。原因不明で、治療法が見当たらず苦しい日々を送っている患者様がたくさんおられます。

糖尿病・肝臓教室

開催のお知らせ

糖尿病・肝臓病の基礎知識、日常生活の注意点、食事など、毎回異なる内容を、医師、看護師、管理栄養士などがそれぞれの立場から説明いたします。糖尿病、肝臓に不安をお持ちの方はもちろん、興味のある方、ご家族の皆様もお気軽にご参加ください。

糖尿病教室は、毎月、第2・第4土曜日 午前9時30分～午前11時

肝臓教室は、毎月、第3土曜日 午前10時～午前11時

新館5階大講堂で開催されます。

●糖尿病・肝臓教室に関するお問い合わせは…

TEL 0766-52-2156
本館1階「総合受付」まで

スタッフ募集

看護師 ……若干名

応募資格／看護師・保健師
(取得見込み者を含む)

視能訓練士 ……若干名

応募資格／免許有資格者(取得見込み者を含む)

作業療法士 ……若干名

応募資格／免許有資格者(取得見込み者を含む)

歯科衛生士 ……若干名

応募資格／免許有資格者(取得見込み者を含む)

※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

●スタッフ募集に関するお問い合わせ
TEL 0766-52-2156 人事担当/吉田

編集後記

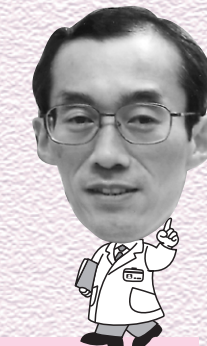
射水市となつてはじめての「和顔愛語」です。市民の皆様のご健康のお役にたてる記事を盛りこみ、より充実した広報誌をお届けできるよう努めたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。(Y・N)

救急指定・労災指定
真生会富山病院

〒939-0243 射水市下若89-10 TEL 0766-52-2156 FAX 0766-52-2197
http://www.shinseikai.jp

社 会の高齢化に伴い、脳血管障害（脳卒中）、認知症（痴呆症）の患者さんが年々増えています。脳ドックを受けていただくことで、これまで以上に早期診断、治療、予防を積極的に行っていきたいと考えています。

内科医師
太田 雅也



院長
整形外科医師
駒井 理

病 院は多くの専門職が集まっており、お互いの状況がわかりにくい環境です。そんな中で、全員が一つの目標に向かって進むのは大変なことであると思いますが、会計情報を通して皆が病院の状況を共有できるよう、がんばりたいと思います。

経理課課長補佐
佐々木 誠



今 年は、訪問看護ステーション開設の年です。訪問看護を通して、より地域の皆様に親しまれる病院にしていきたいと思っています。どんなに忙しくても、心にゆとりをもてるように努めます。

看護部副部長
在宅ケア連携室室長
中井 ともこ



外 来は病院の顔といっても過言ではありません。限られた短い時間に患者様一人一人に関わる看護職員としては、まず細やかな配慮が届けられる親しまれる職員を目指して行きたいと思っています。

看護部副部長
酒井 貴子



現 状に甘んずるのではなく、常に向上して、少しでも理念を実現できるよう努めます。事務部門の今年のテーマは、『自身の向上・職員の向上・病院の向上』です。人材の活用と育成が力を握ると認識し、ここに重点を置きます。

総務部部長
吉田 充寿



臨 機応変に 心に響く対応を！より質の高い安心・満足をみんなでお届けできるよう、お互い切磋琢磨して対応力の向上に努めて参りたいと思います。

フロアマネージャー
木倉 スミ子



外科医師
古谷 正晴



今 年からリガシニアという新しい手術器械を導入しました。今までは血管を糸で縛っていましたが、この器械を使うと血管は瞬時に閉鎖し、出血の少ない、より安全で速い手術ができます。今年も皆様に安心、満足していただける外科診療に全力を尽くします。

情報室主任
坂根 俊介



情 報」が生み出す力で医療に貢献します。

今 年はいよいよ透析施設の元年を迎えます。血液透析は腎臓患者の一生の治療です。心より満足できる医療を施し、本当に充実した人生を送っていただけるように、新しいスタッフとともに一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

内科医師
二村 明広



今 年の目標は人材の補強としレベルアップです。これからは医療の質が厳しく問われる時代となります。私自身も病院も、それに力をつけてゆきたいと思っています。

副院長
眼科医師
橋本 義弘



1、真生会の医療品質の向上。医療品質管理部の2つの柱である「医療安全管理」と「サービス向上」で学会発表ができるような活動をする。
2、耳鼻科診療の秀逸化 耳鼻咽喉科の中の、耳の診療機能をさらにレベルアップする。
3、耳鼻科診療の品質保証 耳鼻科の診療内容をわかりやすく表していく。

副院長
耳鼻咽喉科医師
真鍋 恭弘



安心と満足の医療をめざし 皆様の健康を応援します！

昨年10月より、皮膚科に新しく柳原誠先生が着任されました。柳原先生は、岐阜大学医学部出身で、平成6年から福井医科大学現福井大学（皮膚科学教室助教授、平成9年から昨年まで金沢医科大学皮膚科教授を歴任された）のこのたび当院に着任のはこびとなりました。

「大学病院の教授を当院皮膚科にお迎えすることとなり、感無量の思いです。柳原先生は、シャーロック・ホームズのような洞察力を武器に医術・話術を駆使されて、皮膚病だけでなく、皮膚に表れる人間模様までも読み取っておられます。まさに芸術的診療と思わずにおれません。」

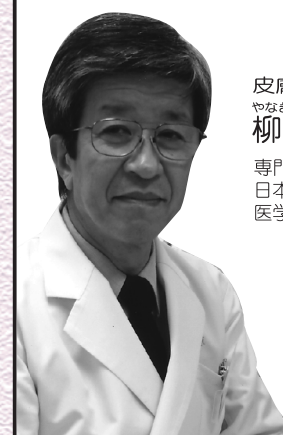
イ ンターネットが普及して、情報化社会に拍車がかかり、病院も選択される時代になりました。選ばれる病院、選ばれざる医師になれるよう精進いたします。

皮膚科医師
花川 博義



昨 年の10月金沢医科大学皮膚科を辞し、真生会富山病院皮膚科に着任いたしました。多くの月日を大学で過ごした経験を生かして、これからも以下のことに心がけ皮膚病に取り組んで行きたいと思っています。
"皮膚は内臓の鏡"といわれております。皮膚には外界からの影響のほか、内臓の異常を反映しているような皮疹が現れます。今患者さんが訴えられている皮膚の変化のほかに、こっそりと現れている内臓からの信号を受け止めることができる医師を目指しております。

皮膚科医師
柳原 誠
専門分野：皮膚科全般
日本皮膚科学会専門医
医学博士



昨 年は、内科から消化器科が発展分離しました。内科の診療は専門分化すると同時に、統合の必要性も常に強調されています。患者様のニーズに敏感に反応し、病状に応じて専門の診療が受けられる幅広い科を目指して、内科医一同切磋琢磨していきます。

内科医師
刀塚 俊起



昨 年、職員講習にて、挨拶と、和することの大切さについて教えて頂きました。病院でこのような事を学べる場を与えていただけた事に感謝しながら、今年も、医療人である前に、一人間として常に成長できるよう励んでゆきたいと思っています。

歯科衛生課課長
稲田 まどか



事務局担当理事
館 修



誰 もが病気は嫌で、病院へは行きたくない。だけど、どうしても具合が悪いから病院に来られる。そういう皆さんの気持ちを理解し、暖かく迎える。そんな病院にしたい。病気を治し、笑顔で帰られる姿を見るのが、とても嬉しいです。

自 分の医療内容を客観的に評価し、向上させるために、カンファレンスや学会参加、論文執筆を積極的にしています。また、高齢者の早期回復医療の最先端を勉強してゆきます。

内科医師
吉田 良昌



昨 年、私の家族の手術入院・治療を通し、家族の立場から改めて手術に対する不安を実感しました。患者様や家族の方の不安や心配を共に受け止め、乗り越え、喜ぶことができるよき理解者となり、より温かい看護をお届けできるよう努力していきたいと思っています。

看護部副部長
わかば病棟棟長
木田 真由美



病 院の建物も設備も、職員も、すべては患者様が健康になって帰って頂く為に存在します。その原点を常に忘れず、患者様の心に添った建物管理、受付対応に取り組んでいきたいと思っています。

医事管理部長
歯科医師
稲田 雅一



地 域の皆様は信頼して頂ける検査室としてもっともっとグレードアップしなければなりません。正確な検査結果を診療側に提供するために、更に精度を上げていきたいと思っています。技術の向上はもちろん、個人の育成をすること、他部署、地域住民の方に安心・満足を提供できる検査室を目指したいと思っています。

中央検査課長
成瀬 智



長 期入院生活を送られる患者様に、他部門のスタッフと連携し、チーム医療を展開することにも、お一人お一人の心によりそった看護を提供していきたいと思っています。

看護部
さくら病棟棟長
上条 孝子



心 療内科は、地域で子供をサポートする活動にも取り組んでいます(NPO子どもの権利支援センターぱれっと)。2年前に小杉駅前に子供の居場所「ほっとスマイル」を開設、今年は活動を射水市に広げ、虐待、いじめの防止など子供の人権を守る活動を続けていきます。

心療内科医師
明橋 大二



施 設を利用される皆様、安全に快適に過ごして頂けるよう全力で維持管理に努めていきます。要望やお気づきの点などありましたら、遠慮なくスタッフにお伝え頂ければと思います。

管理課課長
松田 雅樹



親 が安心して働ける保育環境でありたい。子どもたちにとって保育室が家庭的で親しみやすく、くつろぎの場となるように配慮し、ひとりひとりの子どもが生き生きと活動できる保育を心がけていく。

保育課課長
橘 真知子



麻酔科医師
濱田 富美男



今 年も麻酔科では、術後の痛みの軽減に力を入れていきます。痛みの少ない状態で、少しでも早く、元の生活に戻っていただけるように、手術中および手術後に様々な工夫を行っていきます。

眼科医師
館 奈保子



ス タッフのやりがいと意欲を育てる眼科を目指します。患者様の感謝のお言葉を分ちあうのはもちろん、難病やトラブルでがっかりされたお気持ちを十分受けとって原因を掘り下げ、おなじ落胆を二度と与えないように工夫する喜びを、スタッフで共有したいです。

泌尿器科医師
横山 豊明



泌 尿器科では、前立腺疾患を中心に、より負担の少ない診療に向けて、新しい治療に取り組んでいきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い致します。

歯 をきれいにし、笑顔の美しい人になりましょう。きっと、「和顔愛語」にプラスαが生まれることと思います。今年も、よろしくお願いいたします。

歯科医師
花崎 広子



整形外科医師
太田 悟



今 年の目標は、整形外科医としてのスキルアップです。肩の障害に対する、関節鏡視下手術。傷が小さく、より曲がる人工膝関節置換術。多くの患者様から評価されるよう研鑽を積んでまいります。

医局長
外科医師
本多 正治



5 市町村が合併し、真生会富山病院を取り巻く医療が大きく変わろうとしています。今年もこれまで以上に誠心誠意の医療に努め、患者様に安心と満足をお届けし、射水市民病院と協力して射水市の医療の中核となるよう、医師一同協力して頑張ります。

消化器科医師
真野 鋭志



昨 年新設された消化器科で、患者様中心の医療を実践する年とします。次の目標は、消化器病センターです。また、栄養サポートチーム(NST)は、病棟だけに止まらず、在宅へも足を運び、射水市全体を活躍の舞台とします。

内科医師
豊田 茂郎



日 本でも、脳梗塞の急性期治療にt-PAという新しい薬が使用可能になりました。射水市の中心に位置する当院は、脳梗塞の患者様の速やかな社会復帰を応援していきたいと思っています。

消化器科医師
まつ村 孝之



胃 癌も早くみつかれば、手術しなくても胃カメラで切り取って治る時代になりました。当院でも実施に向け頑張ります。

医 事会計システムの入れ替えが行われる予定です。導入に向け、計画、準備、体制を整えて、一日も早く軌道に乗せられるように努めます。また、医事職員が「医事課行動指針」を遵守し、患者様に喜んでいただける対応ができるように働きかけしていきます。

医事課課長
布川 鏡子



NSTって何だ？

栄養管理を合理的に実施するために、専門的知識及び技術を有する人員で構成されたチームで、各スタッフの役割が明確にされています。



消化器科医師
眞野 鋭 志

構成メンバー



せん。患者さんに最も近い看護師も、またしかり。専門家である栄養士は、栄養の知識はあっても、実際の患者さんに接する機会はありません。

これでは困ると、最近、多くの病院で栄養サポートチーム（NST）が活動するようになりました。各職種のスタッフが知恵を持ち寄り、患者さんの栄養状態を評価し、最適な栄養治療を決定し、主治医とともに実行するのです。チーム医療の典型例と言えるでしょう。

当院では、富山県内でも早い時期にNSTを立ち上げ、平成16年には、日本静脈経腸栄養学会の「NST稼働施設認定」を受けました。

医師、栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士が毎週集まって、検討会を開き、回診しています。「この患者さんにとって何が一番よいか」職種の壁を越えて、活発な意見が飛び交います。

活動の甲斐あって、病棟全体の患者様の栄養状態が少しずつよくなっていくと感じます。栄養が悪いと、やすい褥瘡（床ずれ）も激減。今後は病棟だけでなく、在宅医療での栄養サポートにも取り組んでいく予定です。

まだまだ発展途上の真生会NSTですが、患者様の御期待に応えられるよう、これからも頑張りたいと思います。

Q

真生会富山病院ではどうなのですか？

A

平成15年の4月から準備に入り、10月から稼働しています。全職員が栄養管理という治療の土台を理解し実践しています。平成16年には日本静脈経腸栄養学会からNST稼働施設として正式に認定されました。富山県では11の施設しか認定されていません。NSTでは「栄養に勝る良薬なし」をモットーに、今後も質の高い医療の一環を担っていきたく考えています。

Q

適切に栄養管理を行うことで、どのような効果がありますか？

A

栄養管理を行うことで、

- 合併症が減る
- 院内感染症が減る
- 術後創治癒不全が減る
- 褥瘡発生の抑制
- 患者様の病態改善に寄与する
- 早期回復により在院日数が減る

いずれも患者様にとって利益となることばかりです。

ここが知りたい
栄養サポートチーム
〈NST〉

Q&A

細胞は、外から栄養を取り込んで、生きています。細胞の集合体である人間は、栄養を取らなければ、生きていきません。元気なときも、病気のときも、栄養は体に大きな影響を与えます。特に、病気のとき栄養が大事だということです。誰でも経験的に知っています。

20世紀には、多くの抗生物質が開発され、感染症が制圧されるかと思われましたが、実際は、栄養不良の肺炎患者さんに、強力な抗生物質を延々と使っても、なかなか治りません。やがては薬の効かない耐性菌が出現し、お手

NSTの主な役割

1. 栄養管理が必要か否かを判定する。
2. 適切な栄養管理がなされているかをチェックする
3. 最もふさわしい栄養管理法を指導、提言する
4. 栄養管理上の疑問に答える
5. 早期退院や社会復帰を助ける
6. 新しい知識の習得、志気の向上を図る

の共同作業で、細菌を制圧することができるのです。

病棟には、栄養不良の人があふれています。栄養が悪くて病気になる、病気がよくなります。では、治療の力を握る栄養を良くしてくれるのは、誰でしょう。医学部では、栄養の講義はありませんから、医師はくわしくありま

せん。患者さんに最も近い看護師も、またしかり。専門家である栄養士は、栄養の知識はあっても、実際の患者さんに接する機会はありません。

これでは困ると、最近、多くの病院で栄養サポートチーム（NST）が活動するようになりました。各職種のスタッフが知恵を持ち寄り、患者さんの栄養状態を評価し、最適な栄養治療を決定し、主治医とともに実行するのです。チーム医療の典型例と言えるでしょう。

当院では、富山県内でも早い時期にNSTを立ち上げ、平成16年には、日本静脈経腸栄養学会の「NST稼働施設認定」を受けました。

医師、栄養士、看護師、薬剤師、言語聴覚士が毎週集まって、検討会を開き、回診しています。「この患者さんにとって何が一番よいか」職種の壁を越えて、活発な意見が飛び交います。

活動の甲斐あって、病棟全体の患者様の栄養状態が少しずつよくなっていくと感じます。栄養が悪いと、やすい褥瘡（床ずれ）も激減。今後は病棟だけでなく、在宅医療での栄養サポートにも取り組んでいく予定です。

まだまだ発展途上の真生会NSTですが、患者様の御期待に応えられるよう、これからも頑張りたいと思います。



薬剤師 主任
野 島 恵

薬剤師の活動は、病棟での活動です。これまで、一部の入院患者様には、薬の効能効果や飲み方の説明などを行ってきましたが、今年はもっとたくさん病棟での活動を広げていきたいと考えています。

平成17年度は、耳鼻咽喉科医師として、生涯忘れられぬ経験をさせて頂きました。様々な方の御協力のもと、なんとか乗り切る事ができました。この経験で学び感じた事を、今後の医療ならびに生活の教訓とし、新年も、一人一人と一日一日を大切にする医療を心がけたいです。



耳鼻科医師
鈴木 大 弟



内科医師
清水 和 彦

生活習慣病を中心に、西洋薬と漢方薬を併用して、治療効果を上げていきたいと考えています。昨今の運動不足と脂質摂取過剰による、全身の血行障害の進行にストップをかけ、皆様の心身の健康を応援します。

放射線課 課長
平 田 昭 美

患者様の検査に対する不安を察知し、疑問に対して的確に答えられる放射線技師の集団を目指し、自分の専門領域に対する深い知識を持ち、先生方の期待に応えられるような放射線課にしたいと思っています。



内科医師
堀 田 孝 裕

循環器の病気は、時間との戦いです。早期に治療すれば、治る病気も多いので、なるべく早く受診してください。今年も皆様の健康を応援致します。

安 全で苦痛のない検査、迅速かつ的確な診断・説明、に心がけ、開業医の先生方と密に連携し、地域の皆様を守ります。



歯科医師
患 森 登

今年は、インプラント治療の更なる充実をはかり、より多くの患者様に喜んでいただけるようにしたいというのが一番の目標です。また、口内に関する専門家として、院内の「栄養サポートチーム」に参加し、入院患者様の早期回復に少しでも貢献していきたいと思います。

看護部 手術室・中材 師長
野 吾 みち子

急性期医療を担う中核病院として手術室の24時間対応の運営を行っています。（年間手術1700件以上）術前訪問で患者様の不安や予測されるリスクを事前に把握し手術室看護をお届けています。日頃のチームワークと、進行する手術の一步先を見ながら本年も頑張ります。



庶務課 課長
佐 伯 義 昭

本年度は医療の診療報酬と、介護報酬がはじめて同時改定されます。厚労省は少子高齢化時代をふまえ、増える医療費をどうするか、動向が注目されています。今年も人口減少・少子高齢化とグローバル化の進展に対応するために、真生会富山病院理念を更に実践していく年にしたいと思っています。

スタッフ一同、誠心誠意の医療に全力で取り組んでいきます。

消化器科

これまで内科の胃腸肝臓専門外来として診療を行っていましたが、昨年11月より消化器科として独立致しました。消化器科は食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆のう・膵臓など腹部の病気を担当します。

診療においては次のような点に力を入れております。

- 苦痛のない内視鏡検査法を取り入れています。
- 最新鋭の検査機器を導入し、正確な診断に努めています。
- 診断から治療までのスピードアップを心がけています。
- 潰瘍の除菌療法をしています。
- 「外科手術ではなく切らずに治す」内視鏡治療を行っています。肝炎や肝臓がんの検査治療を行っています。
- 仕事を休まず検査・治療できるよう配慮しています。
- 24時間救急診療体制をとっています。
- 地域のかかりつけ医（開業医）の先生方と協力して診療しています。

消化器科担当医



しんの えい じ
真野 鋭 志
専門分野：消化器、肝臓
生活習慣病・臨床栄養学
内科学会専門医
消化器病学会専門医
肝臓学会専門医
消化器内視鏡学会所属
静脈経腸栄養学会所属
米国内科学会所属



まつ むら たか ゆき
松村 孝之
専門分野：消化器、内視鏡治療
内科学会所属
消化器病学会所属
消化器内視鏡学会所属
肝臓学会所属
胃癌学会所属



かわ い さとろ
河相 覚
専門分野：消化器、肝臓
内視鏡治療
内科学会専門医
消化器病学会専門医
肝臓学会専門医
消化器内視鏡学会専門医

安全な内視鏡(カメラ)検査につとめています

当科では、十分な説明と同意のもと承諾書に記入して頂いて検査を行っています。検査中は呼吸・脈拍モニタリングを行い、検査後には十分な休養(リカバリー室を完備)をとって頂いており、安全には十二分に留意しています。
また、安心して内視鏡検査を受けて頂けるよう、すべての方に感染症の検査を行い、内視鏡技師の資格をもった専属スタッフが、4台の自動洗浄器でガイドラインに従って滅菌・洗浄を行っています。

こんな方は受診してください

- 胸やけ、胃もたれ、吐き気、胃痛、腹痛、便秘、下痢などでお困りの方
- 検診で肝機能異常を指摘された方
- 胃検診や大腸がん検診で異常を指摘された方
- 胃腸、肝臓、胆のう、膵臓などの検査を希望の方



消化器科スタッフ

Q1 最近、胃の痛みを感じます。町の健診で胃透視を受けた時、異常はなかったのですがこのままよいでしょうか。

胃透視は、飲んだバリウムで胃や形や粘膜の模様を間接的に見るものです。体の向きや、バリウムの使い方等で病変がわかりにくいことがあり、胃がんなどの発見はカメラの方が圧倒的に優れています。胃透視ではなんともなかったと安心するのは危険です。一度、胃内視鏡(胃カメラ)検査を受けられることをお勧めします。

Q2 胃の内視鏡はどのようなのですか。

当院では、より苦痛の少ない検査を行うため、口からだけでなく鼻から行える超細径経鼻内視鏡を昨年11月から導入しています。内視鏡は、4.9ミリの細さで、鼻にスムーズに挿入できるので吐き気を感じずに検査を受けることができます。検査中も自由に医師と会話ができ、検査直後から車の運転も可能です。

Q3 胃や腸のポリップを内視鏡で取る時は、痛くないのですか。ポリップは麻酔して取るのですか。

内視鏡は細くしなやかなチューブで、患者様に負担をかけずに体内をやさしくスムーズに動き回り、先端に装備された超小型CCDカメラでお腹の中を鮮明なカラー映像でとらえます。がんであるかどうかを検査するため組織の一部を採取したり、小さなポリップや早期がんなら処置具を使って切除回収することもでき全く痛みは感じません。切除部分に局所麻酔をする必要もありません。

【臨床研究報告】

鎮静剤(セルシン)を用いた胃カメラ検査の有効性と安全性について

消化器科医師 河相 覚
看護師 河相 てる美

当院では十数年前より、富山県内で2番目に、鎮静剤(緊張を和らげ、眠くなる薬)を用いた内視鏡検査を導入しました。以来、当院で胃内視鏡検査を受けるほとんどの患者様は、この鎮静法を希望されるようになりました。しかし、鎮静剤には、呼吸・循環抑制などの副作用の報告例もあり、また、検査後しばらく休んで頂く場所の確保が必要なこともあって、この鎮静法を積極的に用いている病院は、県内ではほとんどありません。

かねてから鎮静剤を用いた内視鏡検査の有効性と安全性について検討し発表したいと思っていましたところ、2年前、当院の看護師(河相てる美)が、富山医薬大大学院に進学し、内視鏡検査時の不安と苦痛に関する研究をすることになりました。

そこで、当院と富山医科薬科大学附属病院(現富山大学附属病院)と高岡市民病院の3施設で、共同の臨床研究を行いました。『セルシン』と言う鎮静剤を用いた鎮静群(101名)と、鎮静剤を使用しない非鎮静群(100名)に分けて、検査前の不安、検査時のおくび(げっぷ)や嘔吐反射(吐き気を催す反応)の回数、検査中の呼吸や循環のモニタリング、検査後の苦痛度調査を行い、両群間で比較検討しました。

不安を感じやすい人、検査前に不安の強い人、若い人、初めての人、おくびや嘔吐反射の回数の多い(咽頭反射の強い)人ほど内視鏡検査時の苦痛がより大きいことが判りました。

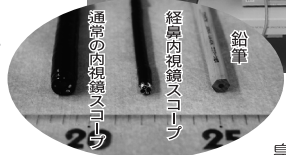
年齢別(40歳以下、41歳～60歳、61歳以上の3群)、検査経験回数別(初回、2回目、3回目以上の3群)に

分けて、鎮静群と非鎮静群で、比較しました。どの年代、検査経験回数、に関係なく、鎮静剤を使用した方が、苦痛を軽減することが判りました。

検査中の、呼吸や血圧、脈拍の変化も調べましたが、鎮静剤を使用した方が、血圧や脈拍の上昇を抑えて、心臓の負担を減らすことも判りました。酸素投与を必要としたり、検査を中止するような副作用は一例もありませんでした。

以上により、検査に不安を感じている人や、若い人、初めて検査を受けられる方、咽頭反射の強い方は勿論のこと、年齢の高い人や、今まで検査経験のある人でも、鎮静剤を使った方が楽にかつ安全に検査を受けて頂けることが判りました。

今回の結果は、昨年の消化器内視鏡学会北陸地方会、日本看護研究学会地方会、日本看護学会(全国集会)等で発表し、論文にしました。内視鏡検査を楽に、安全に受ける方法があることを、多くの方に知って頂き、正しい情報提供(メリットとデメリット)の一助になれば幸いです。



看護部 安全管理部会



定例会の様子

平成17年度 安全管理部会の目標は
①『教育的な関わりを強化し、一人一人が、実践できる感染対策の知識・技術を身につける。』
②『医療機器の保守点検マニュアルの作成と管理の実施』です。

科学的根拠に基づいた感染対策を
患者様に安全と質の高い医療を
提供できるよう活動しています

看護部安全管理部会は、院内感染から患者様と職員の健康を守るために、科学的根拠に基づいた感染対策を実践しています。また院内で取り扱われている医療機器の保守点検管理を行ない、常に質の高い医療を提供できるよう活動しています。

現在メンバー16名で活動しています。院内の活動としては、月一回の定例会を行い、また、院内を定期的に見回り、各部署での手洗い状況、環境管理の把握に努め、随時指導にあたっています。さらに感染対策マニュアルの見直しを行い、コンピュターで院内どこにいても閲覧できるようにしました。

看護部朝礼では、手洗いの必要性や感染対策の重要性を啓蒙し、実践に結びつくよう看護職への指導教育を行っています。院内で感染の疑いがあれば速やかに院内感染対策委員会と協力し、原因の究明、感染経路の遮断に努め、病院全体の安全のための活動に努めています。

院外では、年二回開催されている「富山県感染対策研究会」に参加し、院内感染予防の為の研究や、各施設間の情報交換を行い、さらに年に数回の院外研修にも参加し、最新の知識・技術を学び、実践できる能力を養っています。

今後とも患者様に安全と質の高い医療をお届けできるよう、スタッフ一同力を合わせ活動していききたいと思います。

糖尿病奮闘記



高岡市 T様
(看護師)

私は、県内の病院の手術室で勤務しています。看護師という職業にありながら、糖尿病を患ってしまいました。確かに心当たりはたくさんあります。夜中に牛丼を食べに行ったり、小腹が空いた時に安易にコンビニを利用したり、バイキングや食べ放題という言葉が大好きだったりと、不摂生な生活を送っていました。

糖尿病だと診断されたのは平成15年9月のことでした。その年の夏が暑かったことや、コーラに付いていたおまけが欲しかった事、また、職場でのストレスもあって、大量のコーラを飲んでいました。24本入りの箱を買い、車に積み込み事あるごとに飲んでいました。とにかく喉が渇いて仕方なくその度にコーラを飲んでいたのでした。

症状は他にもありました。夜間になると、15分に1回、トイレに行きたくなるのです。排尿時に残尿感はなく、もう出るものが無いという状態であるにも関わらず、また15分ほどするとトイレに行きたくなり、おかげで寝不足の日々が続きました。

その間も、手術室での勤務や、救急

外来の勤務は普段どおり行っていました。9月のある日、一緒に救急外来で当直していた看護師に「夜間、何回もトイレに行きたくなって、ご迷惑おかけすると思いますけど、よろしくお願います。」と軽い気持ちで挨拶したのですが、その当直勤務の相手が、私の現状を真剣に聞いてくれ、検査をするように勧めてくれました。空腹時血糖を測定したところ、300mg/dl近い数値（正常値は110mg/dl）が出ました。すぐに内科当直医に報告しました。翌朝、勤務時間が終わるのを待って、詳しく検査することになりました。そこで私の既往歴に、18歳の時に指摘された脂肪肝、21歳の時に指摘された高脂血症に加え、25歳にて「糖尿病」が加わりました。

検査後の診察で、すぐに入院が必要である事、全ての病因は肥満であり、減量することで改善される旨、説明を受けました。自覚症状はあったものの、自分が糖尿病である事や職場のスタッフに迷惑をかけてしまった事で、悔しくて涙が出そうになりました。でも他に選択肢はなく、真生会富山病院に入院することになりました。

入院後は、主に食事療法・運動療法を行いました。食事は1日20単位から減らしていき、15単位（1単位80kcal）になりました。今まで、お腹がすいたら牛丼屋やコンビニに行っていた自分には考えられない食生活で、ほんとう

にこんな量で生きていけるか心配でした。夜寝ようと思っても、空腹のため寝付けず、うまく眠りについたらとしても、毎晩食べ物の夢ばかり見るようになりしました。また友達が見舞いにお菓子やジュースを買ってきてくれたのですが、残念な事に全て親に回収されてしまいました。でも1週間ほどそんな生活を送っていると15単位の食事でも満足できるようになっていました。運動量も順調に増えました。入院生活は1ヶ月でしたが、8kg減量することが出来ました。

入院前に300mg/dl近くあった血糖値も退院前には正常範囲内におさまり、昔から指摘されていた脂肪肝や高脂血症の数値も間違いではないかと思えるくらい落ち着いていました。

退院後も食生活に気を配り、1ヶ月に2〜3kgペースで減量し続けました。症状はもうありませんし、検査値も以前ほど乱れてはいません。

18歳から35歳までの1型・2型の糖尿病をヤング糖尿病と言うそうです。精神的にも社会的にも未熟な状態であり、糖尿病である事を誰にも打ち明けられずに抱え込むこともあり。私のような看護師に食事指導や生活指導をされる患者様の中には、大なり小なり違和感を感じる方もおられるでしょう。しかし、体験を活かした指導をすることにより、同じような悩みを持つ方の力になりたい、と思っています。

患者様に安心をお届けする

医事課(歯科) 山本郁子

まず患者様の名前と顔を覚えるように心がけています。何度も通院が必要になる場合が多い歯科治療です。患者様の顔を覚えることによって、自然と笑顔でお迎えすることが出来ます。また、治療の内容、治療後の注意事項をわかりやすくまとめた手作りのパンフレットを作成し、お渡ししています。今、自分がどのような治療を受けているのか、それを理解して頂けたら、患者様は安心して治療を受けられると思います。



パンフレット作成の打合せ中(左が山本さん)



おかげもとまさお 岡本政雄様

数年前大学病院で大腸癌を告知され、ショックで頭の中が真っ白になってしまった。気が動転した状態の時、主治医より趣味に写真撮影を勧められた。その時、病院で見た写真展に心を動かされてカメラを手にし、次第に引き込まれていった。四季折々の花や自然に心なぐさめられ、写真仲間との交流によって元気をもらって病気を乗り越えてきた。そして今は、少しでも自分が他の人の力になりたいとフラインダーをのぞいている。「花と昆虫の会話」、今心惹かれるのはそんな一瞬だ。

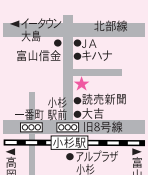
SPOT

私のあめ



医事課 肥田洋枝

私がおすすめのお店はゲルマニウム温浴ができる「ナトゥーア・シェーン」です。ゲルマニウムの入った温水に20分間手と足を入れるだけでエアロビクス2時間分の効果があり、汗びっしょりになります。体脂肪の燃焼はもちろん、冷え性、肩凝りなどに効果があります。私の場合は毎年冬になると、夜手足が冷たくてなかなか寝付けなかったり、夜中に何度も目が覚めたりしたのですが、ゲルマニウム温浴をしてからとても良くなりました。みなさんもぜひ試してみてください。



体内の酸素量を増やし、血液をきれいに、体内の老廃物を排泄、免疫力、自然治癒力を高める、人気の美用法「有機ゲルマニウム温浴」薄着になって手足を20分つけばポカポカ発汗作用で心身共にリラックス。また、話題の「耳つばダイエット」(カウンセリング無料)など美容メニューも多彩。

ナトゥーア・シェーン (Natur-Schoen)

射水市三ヶ錦町4012
TEL 0766-55-3343
営業時間:午前10時〜午後7時(予約制)
定休日:日曜日、祝日
駐車場:小杉駅前無料駐車場を使用
■姉妹店:アールズヘアー
TEL 0766-52-7123